

学科 学年	M2	科目 分類	数学AI Math AI	講義 必修	前期 2単位	学習教育 目標 B	担当	佐藤志保 SATO shiho
概要	関数として記述されたさまざまな現象を解析するための手段として、微分積分に関する講義を行う。							
科目目標 (到達目標)	微分、積分という概念を理解し、具体的な計算を実行できるようになる。							
教科書 器材等	新訂微分積分1、新訂微分積分1問題集(大日本図書)、高専の数学2問題集(森北出版)							
評価の基準 と方法	定期試験の平均成績を80%、授業の出席状況を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	1学年数学AI、数学AII、数学B							
授業計画								
第1週	関数の極限、連続							
第2週	微分係数、導関数							
第3週	導関数の計算							
第4週	合成関数の微分							
第5週	三角関数の導関数、逆三角関数							
第6週	逆三角関数の導関数							
第7週	対数関数、指数関数の導関数							
第8週	前期中間試験							
第9週	平均値の定理、関数の増減と極限							
第10週	関数の最大最小、高次導関数							
第11週	関数の凸凹							
第12週	媒介変数表示と微分法、接線と法線							
第13週	不定形の極限、速度と加速度							
第14週	不定積分の定義							
第15週	前期末試験							
オフィスア ワー	基本的に、毎日午後4時から5時まで。							
備 考	試験の日程は、予告を行った上で変更される場合がある。							